

公益社団法人 地盤工学会
平成23年度 第2回技術普及委員会
議事録

日時	平成23年6月16日(木) 13:00～16:00					会場	地盤工学会地下会議室	
委員長	村田 芳信	○	幹事	原 忠	○	幹事	秦 樹一郎	○
委員	王 林	○	委員	伊藤 和也	○	委員	栃尾 健	○
委員	舟橋 景介	○	委員	北田 貴光	○	委員	今井 優輝	○
委員	水野 健太	○	委員	長屋 淳一	○	委員	渡邊 康司	○
委員	野末 康博	×	委員	山川 優樹	×	委員	山中 捻	○
委員	林 豪人	○	委員	辻村 崇	○	委員	後閑 勇	○
委員	喜多川 俊介	○	委員	松本 幸久	○	事務局	廣松 さおり	○
○:出席 ×:欠席 △:未定								

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (資料-1)
栃尾委員が指名された。
2. 前回議事録の確認 (3/10) (資料-2)
前回議事録(舟橋委員担当)が承認された。
3. 事業部会 (4/25) 議事録案 (資料-3)
村田委員長より第1回事業部会の概要について報告があった。
・ショッピングカートの改修は事業部で行う。S and F の申し込みもショッピングカートから行えるようにする予定。
・「地盤工学を築いた人々」の幹事は出版企画委員長となった。
4. 第2回、第3回理事会 (5/13、6/10) 議事録案 (資料-4) (資料-5)
村田委員長より第2回理事会の概要について報告があった。
5. オンデマンドWG(5/19) 議事録案 (資料-6)
原幹事よりオンデマンドWG(5/19)の概要について報告があった。
6. 図書出版作業進捗状況 (別添資料-1)
事務局より以下の報告があった。
・実務シリーズ29『土の締固め』は作業が遅れている。
・実務シリーズ28『近接施工』は12月15日に講習会が決定した。
・実務シリーズ31『山留めの創意・工夫と素朴なQ&A』は10月講習会を行う。OD化の要請については渡邊委員がヒアリングを行う
・単独本『都市の地盤』は、東北地方太平洋沖地震の内容を追加して修正中。講習会については地方毎で内容を変えて行うといった新しい形式も考えられる。
・新企画の講習会担当者として、実務シリーズ32『河川構造物の調査・設計から施工まで』:山中委員、実務シリーズ33『地盤改良の調査・設計から施工まで』:松本委員、ジオテクノート16『現場における地盤調査法の基本』:喜多川委員に決定した。
・入門シリーズ38『地盤工学における性能設計入門』は2年程出版が延期されているが、講習会に関わるため進捗状況を委員長から事業部会で確認する。
7. 平成22年度講習会収支報告 (資料-7)
平成22年1月2月実施の講習会の収支が報告された。
・「治水利水の～」講習会については、ターゲットとした官庁がふるわなかった。「建設工事における～」講習会については、昨年度で終了。「基礎構造物の～」講習会については、今年で終了。「はじめて学ぶ土壌～」講習会については、今年は講義時間を延ばす。「トラブルから～」講習会については、宮崎先生が交代する可能性あり。「特殊土の～」講習会については、講師のメンバーを再考中。
・委員長から講習会費用に関するアンケートを加えてはどうかと提案があった。
8. 終了講習会の報告 (資料-8)
終了講習会の参加人数が報告された。
・「事業継続計画～」講習会について、伊藤委員から報告があった。関東支部主催、本部共催という形式であったが、ダイレクトメールが受講者の増に効果があったと思われる。日程が港空研の震災報告会と重なっていた。

審議事項

1. 平成23年度講習会開催について

(資料-9)、(別添資料-2)

- ・『既設構造物直下の液状化対策工法講習会』は講習内容、テキストを補足し、秋頃再度実施する予定。OD化は資料に制約が増えるため難しい。
- ・『施工・維持管理に配慮した基礎構造物の計画講習会』は前年度延期になったが、受講申し込みされた方には再度案内を送付した。
- ・『はじめて学ぶ土壌・地下水汚染講習会』は、本年度は時間を延長した。
- ・『わかって使うFEM講習会』は『はじめて使うFEM講習会』でチラシを配布予定。

2. 講習会の形態について

(資料-10)

- ・告知について、講習会の初・中・上の区分が分かるようにする。また企画段階から講師に初・中・上の区分を検討して頂く。
- ・会費について以下とすることが決まった。後援団体は(非会員-1,000円)とする。

区分	講習	実習・演習	テキスト
上	正 12,000	正 18,000	3000
	非 16,000	非 23,000	
	学 4,000	学 14,000	
中	正 10,000	正 13,000	
	非 13,000	非 17,000	
	学 3,000	学 9,000	
初	正 7,000(半日:6,000)	正 9,000	
	非 10,000(半日:8,000)	非 12,000	
	学 1,000(半日:1,000)	学 6,000	
講演会	正 3,000	—	—
	非 5,000		
	学 1,000		

3. コース制について

(資料-11)

- ・今井委員からこれまでの経緯について説明があった。
- ・コース制の審議事項としては、修了証のフォーマットの決定が残っており、決定すれば修了者へ修了証を送付する。現在案として挙げられているフォーマットは事務局の方で確認する。修了証フォーマットが決定すればコース制WGは休止しても差し支えないと考えられる。
- ・講習会コース制運用ルールについて、「4.運用ルール 1.コース制の構成」の表についてはレベルの欄を削除する。
- ・コース制WGのグループ長は村田委員長にお願いする案が出された。また前任者より引き続き、辻村委員、後閑委員、新たに喜多川委員、山川委員、栃尾委員がコース制WGへ追加となった。

4. オンデマンド講習会について

(資料-12-1~12-5)

- ・オンデマンドWGからの提案のあった『第2回オンデマンド講習会@JGS会館』を実施することとなった。
- ・オンデマンド版『やさしい補強土講習会』については実際の講習会と日程が近いため実施しない。
- ・オンデマンド版『続・土壌・地下水汚染の調査・予測・対策』については2日に分けて1日の講習とし10/6(担当:栃尾)に実施する。会費は2,400円とし、CPDについては事務局で確認する。
- ・オンデマンド版『実務者のための土と基礎の設計計算演習』については、(1)を10/11(担当:林委員)、(2)を10/12(担当:後閑委員)、(3)を10/13(担当:松本委員)、(4)を10/14(担当:辻村委員)に実施する。
- ・『治水利水施設の自然災害に対する減災と対策講習会』のオンデマンドが完成し、料金を半額とする提案があったが再度審議することとなった。
- ・コース制WGと兼任であった松本委員はオンデマンドWGの専任となった。

次回委員会開催日 平成23年9月1日(木) 10:00~13:00 於:地盤工学会 地下A会議室

以上